

2020年度 全国中学校ゴルフ選手権春季大会  
文部科学大臣杯争奪 第41回個人の部

期 日 令和3年3月24日・25日・26日  
場 所 三木ゴルフ倶楽部

一般社団法人日本高等学校・中学校ゴルフ連盟

ローカルルール

- アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。  
ただし、現にプレーするホールの白杭を結ぶ線を越えて他のホールに止まった球はアウトオブバウンズの球とみなす。
- 修理地は青杭を立て、白線によってその縁を定める。
- ジェネラルエリアにある排水溝はジェネラルエリアにある動かさない障害物とする。
- 電磁誘導カート用の2本のレールは、その2本のレールの全幅をもって1つのカート道路とみなす。
- 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
- 防球ネットからの救済を受ける場合は、その障害物の上を越えたり、中や下を通すことなく、完全な救済のニヤレストポイントを決定しなければならない。このローカルルールに違反して誤所から球をプレーしたことに対する罰：規則14.7aに基づく一般の罰
- 特定の用具の使用制限
  - 『適合ドライバーヘッドリスト・ローカルルールひな型G-1』を適用する。
  - 『溝とパンチマークの仕様・ローカルルールのひな型G-2』を適用する。
  - 『適合球リスト・ローカルルールひな型G-3』を適用する。
  - 『動力付き移動機器の使用禁止・ローカルルールのひな型G-6』を適用する。  
ただし、第9番からクラブハウスへの移動および委員会が認めた場合や、事後承認された場合を除く。
- 規則10.3aは次のように修正される：プレーヤーはラウンド中キャディーを使用してはならない。
- 規則5.5bは次のように修正される：2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。
  - ・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、
  - ・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。
- 危険な状況のためのプレー中断は、1回の長いサイレンによって伝えられる。その他すべての中断は短いサイレンの繰り返しによって伝えられる。どちらの場合も、プレーの再開が1回の長いサイレンによって伝えられる。（規則5.7b参照）
- 修理地の白線で囲まれた区域とその区域につながられた動かさない障害物は、規則16.1に基づいて救済を受ける場合、ひとつの異常なコース状態として扱われる。
- 『ゴルフの規則の詳説・ローカルルールのひな型E-12』を適用する。
- 『ゴルフの規則の詳説・ローカルルールのひな型G-9』を適用する。

## 注 意 事 項

1. 東コースをOUT、南コースをINとする。
2. ローカルルールに追加・変更のあるときは、クラブハウス所定の位置とスターターズテント内に掲示する。
3. スタート時刻30分前にはクラブハウスで大会受付とコースフロント受付を済ませ、スタート時刻5分前には必ずティーイングエリア周辺で待機すること。
4. プレーは迅速に行い、先行組との間隔を不当にあけないよう注意のこと。  
不当な遅延は、ゴルフ規則5.6aにより罰せられることがある。
5. 9ホール終了後、キャディーマスター室で折り返しの時間を確認すること。
6. ラウンド中、競技者は部外者を近づけないよう十分注意すること。  
これを怠ると、アドバイスを受けたとみなされ、ゴルフ規則10.2により罰せられることがある。
7. 練習は指定練習場で行うこと。但し、9ホール終了後の打球練習は出来ません。  
(指定練習グリーン上でのパター練習は可)
8. 打球練習場（午前6時00分開場）においては必ず備え付けの球を使用し、1人24球を限度とする。  
打席数に限りがあるので長時間の使用は禁止する。  
尚、使用クラブを限定する（190ヤードを越えないクラブ）。

競技委員長 河井 弘昌